



福井大学教育学部
附属義務教育学校

No. 1

令和2年4月10日

学校だより

ごあいさつにかえて

校長 北 典 子

新型コロナウイルスによる感染者が、依然として急増しています。刻一刻と変化する状況の中、皆様には、大変ご迷惑をおかけしております。

このたび、附属義務教育学校と附属幼稚園の校長を拝命した北典子です。全教職員とともに、教育活動に全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、3月末まで、福井県教育総合研究所内の教育博物館に勤務しておりました。教育現場を離れ、自身の無知を痛感する中、福井にゆかりの先人の業績から福井県の教育の素晴らしさを改めて学びました。高齢者から子どもまで世代を超えて来館される方に、本県の教育に親しみを持っていただけるよう展示の紹介に努めてきました。

さて、四半世紀前、附属義務教育学校後期課程（元附属中学校）に在職しておりました。私は、教師力と人間力を兼ね備えた諸先輩の中で学び、自己研鑽に努めながら「附属愛」を育んできました。先日着任し、子どもたち自らが学習を練り上げ、成長する学校文化が定着していること、学び手としての教員の教育理念が継承されていることを感じました。

『教育は未来を創る』という言葉聞いたことがあります。これからの時代が求める学力は、生涯にわたって自分で課題を捉えて解決・実行する資質・能力ベースの学力です。実際、企業においては、社会の中で多様な価値観と調和して解決していく力を有するグローバル人材が求められています。予測不能な時代の社会を創り出していく子どもたちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていく資質・能力は、教員自身に求められる資質・能力でもあると思います。

子どもたちのわくわく、ドキドキする心や「もっと知りたい」という知的好奇心をかき立てる授業、課題の探究や創造的な表現活動を通して主体性を高める授業づくりを推進したいと考えています。子どもたちと教員が共に学び合う共同体を築き上げていく教育活動から、教育目標である「未来を創る自己の確立」をめざしていきたいと存じます。幼小中すべての子どもたちの成長と、一人一人の子どもの可能性を拓く教育活動の創造が、私の使命だと捉えています。

保護者の皆様と心をつなげて、子どもたちを見守り、育てていきたいと存じます。私たち附属義務教育学校園の教職員一同は、全力で指導にあたり、皆様の信頼に応えるよう努力してまいります。お力添え、よろしくお願い申し上げます。

